

特別区競馬組合における獣医職員の業務について

特別区競馬組合の獣医職員は、非開催業務と開催業務の2種類の仕事に従事します。

非開催業務

所属部署における競馬開催に向けての準備をはじめとした平常業務です。

獣医関連業務のほか、所属部署に関連した業務も行います。

- ・ 防疫業務（在厩馬への予防接種、厩舎地区の衛生管理 等）
- ・ 薬物管理業務（投薬履歴のチェック、競技外検査、厩舎地区の薬品点検 等）
- ・ 誘導馬の日常診療、競走馬の検査
- ・ 骨片摘出手術等の二次診療
- ・ 獣医技術研鑽研修の実施
- ・ 外部研修、学会への参加
- ・ 国際交流競走関連業務
- ・ 獣医法規関連業務



開催業務

競馬開催に携わる業務です。

レース前

① 傷害馬診断業務

レースで怪我した競走馬に対し見舞金を支給するために必要な検査診断業務です。

② 馬体検査

出走予定馬たちの馬体を装鞍所や馬場で確認し、出走させても問題ないかの判断をします。



レース中

① 事故馬への対応

何らかの理由で騎手が競走を中止した場合、現場に急行して状況を確認し、速やかに競走馬を馬救急車に収容します。その後、場合によっては検査を実施し、予後の判定をすることがあります。



レース後

① 馬体検査

レース後の馬体に異常がないかを確認します。

場合によっては検査を実施し、応急処置をすることもあります。

② 検体採取所業務

検体採取所に入所した競走馬の眼を洗い、砂を除去します。

また、時間内の採尿ができなかった馬については、採血します。



先輩獣医職員の声

2018 年入庁 厩舎管理課 主事 30 代女性

① 現在の職務内容

私は現在、厩舎管理課に所属し、非開催日は競走馬の入退厩管理業務や契約事務をはじめとする所属部署の業務のほか、獣医職員として、在厩馬の予防接種や競馬場の衛生管理、薬物管理、誘導馬の健康管理、医薬品の在庫管理といった獣医関連業務にも従事しております。開催日は装鞍所内にある獣医室で、開催業務に従事しております。

ある1日の流れ

ナイター開催日

～13:15 出勤、準備
13:15 見舞金申請受付、検査機器準備
13:30 厩舎を車で往診し、傷害馬診断
14:30 機器の片付けと検査画像の確認
14:50 第1レース後の馬体確認
※以降、全レース後実施
16:15 第4レース後熱中症を発症した
競走馬の応急処置
17:20 第6レース後、大差入線した
競走馬の聴診、診断書の作成
18:20～19:20 夜休憩
19:25 第11レース出走馬の馬体検査、
競走除外診断書の作成
21:00～21:50 傷害馬カルテの記入
22:00 着替え、退勤

非開催日

～9:00 出勤、準備
9:00 入退厩手続きの受付、
馬の健康手帳の確認
10:00 メールの確認、診療日報の確認、
検査室利用状況の確認、
契約事務処理、起案作成
12:00～13:00 昼休憩
13:00 レントゲン機器の準備
13:30 誘導馬のレントゲン検査
14:30 入厩検査
15:30 医薬品、消耗品の在庫確認
16:00 起案、その他事務
17:45 着替え、退勤

※開催日の流れは当日の役割によって異なります（ほか、装鞍所・検体所担当、事務担当）。

② 庁内の雰囲気、職域

20代から60代まで幅広い年齢層の職員が在籍（約84名）し、女性の職員も年々増え（約20名）、活気があります。獣医職員は10名在籍（うち女性6名）し、獣医業務の他、裁決や審判、発走等、獣医の知識や経験を活かし、様々な分野で活躍できる魅力的な職場だと思います。

③ やりがい、大変なこと

防疫・衛生管理業務を通じて在厩馬を伝染病の脅威から守ることや、開催業務や薬物管理業務を通じて大井競馬の公正確保に貢献することで、大井競馬場をよりよくする一助となれていることにやりがいを感じています。また一獣医師として、レース後応急処置を施した競走馬が回復し、無事競走復帰できたことを知ったときには、やはり嬉しいです。

一方、大井競馬の主催者として時に厳しい判断や毅然とした態度をとらなければならない場面があり、プレッシャーに感じることもありますが、身近にいる上司や同僚に支えられることで、上手く成長につながられていると思います。

④ 就活生へのメッセージ

馬や競馬に少しでも魅力を感じるならば、ぜひ当組合への入庁を検討してください！
獣医職員一同、皆様にお会いできる日を心よりお待ちしております。